

亀井秀雄

# 主体と文体の歴史

定価 4700 円+税 608 頁 2013 年 5 月 25 日刊行  
 文学史の時代区分は、国家という枠組みによってリアリティをもち、成長や開花といった生命体の比喻で語られる。そうした中央集権的な思考や制度的な言説を脱構築する様々なテキストと文体の試みは、どのように展開されていたのか。「第1部 発話と主体」、「第2部 時間と文体」、「第3部 近代詩の構成」、「第4部 文体と制度」の4部構成から明らかにしていく。近代文学研究に大きな功績をあげた著者の単行本未収録論文集。



●本書の刊行を記念し以下の通り講演会を行います●

## 講演会 亀井秀雄『主体と文体の歴史』

司会  
進行

石川巧・西田谷洋

講師

亀井秀雄

日時 2013 年 7 月 1 日(月)  
18:00-20:00

会場 立教大学池袋キャンパス  
4339 教室(4 号館 3 階)

参加費 無料

お申し込み [toiawase@hituzi.co.jp](mailto:toiawase@hituzi.co.jp)  
 (参加人数把握のため事前にメールをいただけますと幸いです。)

立教大学池袋キャンパスマップ



ひっじ書房

〒112-0011  
 東京都文京区千石 2-1-2-2F  
 tel. 03-5319-4916 fax 03-5319-4917  
<http://www.hituzi.co.jp/>